

「技術開発の強化を」

前澤工業 宮川社長が新年あいさつ



宮川社長

前澤工業の宮川多正社長は5日、川口市の本社で年始のあいさつを行った。

宮川社長は、昨年も世界中が新型コロナウイルスに翻弄された1年だったとする一方で、世界経済が直面する課題としてカーボンニュートラルを挙げ、「感染症の終息がようやく見通せると思われる2022年は、脱炭素を中心とする新たな課題に取り組みつつ、世界経済がコロナ流行前から直面している長期停滞を脱却できるかどうかが問われる重要な時期とな

る」とし、「こうした状況のなか、改めて当社グループが社会で存在する意義は、パーパスをしかりと捉えて中長期戦略に反映していきたい。皆さんもぜひ社会人としての自分自身のパーパスについて考えてほしい」と社員に呼びかけた。

続けて、技術開発の強化と、社員一人ひとりの個性を活かす組織づくり特に力を入れていきたいとして、技術開発の強

化については「すでに開発プロセスの見直しや社内体制の再構築など各方面で動き出している。メリハリのある、そして成果物に結びつく開発体制を目指し、なお一層の進展をお願いしたい」と語った。

また、個性を活かす組織づくりについては「人口が減少するなかで持続的な成長を実現するためには生産性の向上が不可欠となるが、そのために必要となるのがデジタル化の推進。当社グループでもDXに関するプロジェクトを立ち上げ検討を進めているが、継続的

な生産性向上につながるには表面的な設備やソフトウェアの導入だけでなく、新たな技術を使いこなせる人材の育成や旧来の業務プロセスの再編といった人に依る部分が大きい。そうしたなかで、今年是人材を活かすということについて具体的なアクションを起こしていきたいと考えており、まずは社員のキャリア形成支援などを充実させた」と話した。

最後は、「社員一人ひとりが健康で安全第一を念頭に行動し、1年間無事故・無災害で過ごせれば」と語った。